

# ほっかいどう NIE・通信

Newspaper in Education 教育に新聞を

発行 北海道NIE推進協議会



〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内  
TEL 011-210-5802 FAX 011-210-5826

## 道内41校、全国最多に

### 本年度 実践候補校固まる

2005年度の道内NIE実践校の受け付けは順調に進み、候補校が固まった。北海道NIE推進協議会(会長・山田家正北海道開拓記念館館長)が4月中旬まで調整作業を続け、最終的に04年度より5校多い35校を日本新聞教育文化財団に推薦するとともに、北海道独自に6校を内定した。この結果、本年度の実践校は合わせて41校に上る見通しで、東京都の34校を上回り、都道府県別で全国最多となる。

実践校の候補探しに苦労する府県もあるなかで、例年以上に出足が早かった道内の場合は、3月末

「ものごとを1つだけで判断してはいけないと思った。新聞をいくつも見てみようと思った」。新聞比較を終えた後の中学1年生の感想だ。NIE実践校に認定されると複数紙の朝夕

### 自校に必要なNIEを考えたい

NIEアドバイザー 三上 久代

NIEを理解するには、NIEの授業は魅力的である。

刊が提供される。新聞の量の多さに驚きながらも、工夫とアイデアで新聞を使った授業に挑戦できる。そのときに強い味方となってくれたのは、日本新聞教育文化財団や北海道NIE実践校に認定されると複数紙の朝夕

聞いたり、交流したりすることからも得ることは多かった。だろうか。認定期間終了のとき、教育課程に位置づけたNIEの実践を全校で確認することができたらと思う。そのためには、校長先生、教頭先生

ではないかと思うのは私だけだろうか。認定期間終了のとき、教育課程に位置づけたNIEの実践を全校で確認することができたらと思う。そのためには、校長先生、教頭先生

ではないかと思うのは私だけだろうか。認定期間終了のとき、教育課程に位置づけたNIEの実践を全校で確認することができたらと思う。そのためには、校長先生、教頭先生

ではないかと思うのは私だけだろうか。認定期間終了のとき、教育課程に位置づけたNIEの実践を全校で確認することができたらと思う。そのためには、校長先生、教頭先生

ではないかと思うのは私だけだろうか。認定期間終了のとき、教育課程に位置づけたNIEの実践を全校で確認することができたらと思う。そのためには、校長先生、教頭先生

ではないかと思うのは私だけだろうか。認定期間終了のとき、教育課程に位置づけたNIEの実践を全校で確認することができたらと思う。そのためには、校長先生、教頭先生

ではないかと思うのは私だけだろうか。認定期間終了のとき、教育課程に位置づけたNIEの実践を全校で確認することができたらと思う。そのためには、校長先生、教頭先生

(高)

IIE推進協議会、各新聞社、実践者の手による実践例集、実践報告書、ワークシート集や研究会だった。NIE全国大会で、実践している先生方の発表を

このため、例年は1次と2次の2回に分けて行う実践校の認定作業も、

NIEが活発な道内の実践校をこの範囲で、全国一校もあつた。このため、例年は1次と2次の2回に分けて行う実践校の認定作業も、

NIE実践校制度(新規提供事業)は、前号で述べたように、本年度は早くして5月から新規式に認定され、継続校では原則として2学期から新規実践校はこの後、日本新聞協会の専門部会で正式に認定され、継続校では原則として2学期から新聞提供が始まる。

はいうまでもなく、先生方、全員が理解が必要である。新聞をどう入手するかが課題になると、新たな可能性が開けるのである。安価な学校教材用冊格で利用するというのも一つだ。生徒の目がキラキラ輝くNIEの授業は魅力的である。

職員の理解が必要である。新聞をどう入手するかが課題になると、新たな可能性が開けるのである。安価な学校教材用冊格で利用するというのも一つだ。生徒の目がキラキラ輝くNIEの授業は魅力的である。

今回は1回で終わる形となつた。

から新聞各紙の無料提供の形態が変わる。

雪が解けると新しい人との出会いが始まる。全道一斉に小・中学校で入学者が行われた。

色工房

## 情報の宝庫どう生かすか

タイトルは、提言を述べようとしているのではなく、私自身へ向けた課題のことである。

昨年度、NIE実践校に加えていただけ、2ヶ月間の「A型実践校」として、主に社会科で活用させていただいた。実践校となる以前からも、個人的には新聞を資料として活用していたし、また現任校も「情報活用能力の育成」を「本校の学力」としての基礎・基本」と位置づけてきたため、新聞を教科以外でも扱うこ

とは多かった。NIE実践校になることで、今まで積み重ねてきたことにあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関に

あらためて御礼を申し上げたい。発表の機会をいただいたこと、何人の先生方とお話しで積み重ねてきたことにあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

せていただいた。発表の機会をいただいたこと、何人の先生方とお話しで積み重ねてきたことにあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。



札幌中教諭  
道教育大付属  
太田 和幸

## NIE実践校奮闘記

### 「複眼的思考」を育てる

昨日、NIE実践校に加えていただけ、2ヶ月間の「A型実践校」として、主に社会科で活用させていただいた。実践校となる以前からも、個人的には新聞を資料として活用していたし、また現任校も「情報活用能力の育成」を「本校の学力」としての基礎・基本」と位置づけてきたため、新聞を教科以外でも扱うこ

とは多かった。NIE実践校になることで、今まで積み重ねてきたことにあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

立命館慶祥  
中・高教諭  
片岡 徹

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。



## 心に触れるNIEを

### 合併特例法も学習

室蘭・胆振セミナーで成果報告

胆振地方で新聞の活用に取り組む先生たちの実践交流の場であるNIE室蘭・胆振セミナー(主催・北海道NIE推進協議会、後援・室蘭民報、北海道新聞)が3月5日、

基調講演した室蘭東中の宮重徹三教諭は、長年力を入れてきた新聞切り抜き帳の活用法や、命の大切さを取り上げた自らの授業などを例に、「子供たちの心に触れるNIEを」と提言した。

登別市緑陽中の結城学教諭は、班ごとの新聞作りの取り組みなどとともに、「1年生も(市町村)の側に立った活用の仕方を考え、実践していかなければ、実践しないと感じます。そこで起きたのが、結局のところ、私は新聞という情報の宝庫を、まだ生かしてはいないのだ。まだ生かしてはいない」

同セミナー開催は、昨年5月に続き2回目。教育関係者ら約20人が参加。先生4人が実践報告を行った。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

さて、実践中は毎日6紙が朝・夕と生徒玄関にあらためて御礼を申し上げたい。

# 家庭、地域と連携深く

## 米NIE事情を視察して

米国NIE事情観察  
からの帰国翌日の朝、新聞各紙はローマ法王の死をトップ記事として取り上げていた。その翌日、視察先の一つだったワシントンボストン社のホームページの「Kids Post」のサイトにアクセスしてみると既に、紙

面から子供たちに法王の死の意味することや、次の法王が直面する最大の問題は何か、というようなことを読み取らせ、考えさせるという内容のNIEプログラムが掲載されていった。



函館水產高教諭

山本  
かおり



米国NIE視察で訪問した中学校

## 新聞社も積極活動 / 教育的影響力を実証

今回は3校の学校视察の機会も得た。ある中学校の「Civics（公民）」の授業では担当教師が次々と投げかける問い合わせに對し、活発に意見を發言し合っていた。連日報道されていたある米国人女性の尊嚴死問題から報道のあり方を問う論議も行われた。別の授業では生徒全員が一部ずつワシントンポスト紙を手にし報道の自由について熱心に考えていた。この学校には毎日60部の新聞が届けられるそうだ。

新聞社で耳にした興味深い話の一つは、ヒスピニック系の生徒の60%が学校で使った新聞を家に

てアレンジするだけで比較的容易に実践することも可能である。

米国の新聞社はなぜNIEに力を入れるのか。観察中、米国新聞協会財団副理事長ジム・アボット氏から直接この点についても聞くことができた。同財団が昨年まとめた調査の結果は、学校での新聞活用経験が大人になつてからの新聞購読の習慣を決定づけ、将来の購読者になるかどうかを左右するとの証明した。さらに調査結果はNIEが読解力の標準テストの成績向上に効果的であること、それが特にマイノリティの生徒に顕著であるということが表れ、NIEの教育的影響力の大さを実証した。

新聞界と教育界が連携し、学校で新聞を活用するNIEを広めようと3月20日東京学士会館で「日本NIE学会」が設立された。総会には小中高大の先生方や一般市民など約120人が参加し開催された(写真)。

設立準備委員会の代表として準備を進めてきた横浜国立大学、影山清四郎教授は「日本の教育は社会に積極的にかかわる力をいかに育てるかが求められている。新聞は非常に有力な学習の材料であるといいさつし、その後、影山教授が会長に選出された。

## 学問体系化を目指し

## 東京で NIE 学会旗揚げ



〈原稿を募集します〉

系統的な学問体系を目指すNIE学会は、生涯学習の一翼を担い、その果たす役割は大きい。

教育関係者は、NIE 関係の研究会があるのに “いま、なぜ NIE 学会 設立か”と危惧（きぐ）の念もあったが、学会の目的や活動内容について 説明があり、会員の共通 理解が図られた。

目的として個々の NIE 実践の理論化、学生の講義や教員研修への働きかけ、NIE 活動への市民の自立的な参加、理論と実践を深化・発展させ生涯学習にどう位置づけるかなどが挙げられた。

学会の継続研究の具現化に当たり、新聞に一層親しむ風土を培い新聞活用をめぐる教育活動の学

全国高校NIE研究会の研究発表大会が3月26、27の両日、東京都内の東洋高校で開かれ、新聞を活用した授業のさまざまな実践例が報告されました。3回目となる今大会は、北海道を含め全国各地から約100人の教師や教育関係者が参加しました。

(北海道新聞NIE推進センター委員 伊東 正剛)

## 実態に即し新聞活用を

### 高校NIE研究大会で報告

#### 「困難校」の模索

大会の主題は「高校NIEとコミュニケーション能力」NIEで培った力を多様な学習活動に生かす。初日はシンポジウムでは、生徒たちの基礎学力が低く基本的生活習慣も確立されていない、「困難校」でのNIE実践の事例を中心に、生徒たちに新聞を読ませ、外部とのコミュニケーション能力を話し合いました。

シンポジウムでは、生徒たちは新聞に親しむ場を設けることが報告されました。四則計算が満足にできるため、紙面に占める新聞広告の割合のグラフ化が難しかったり、間違いを指摘するなどの日から登校しなくなったりすることがある一方、作業や発表ではほめて、やる気を起こし、新聞記事が役に立つことを初めて知った子が増えました。

#### ■クラス便り利用 教科ごとの研究発表は18において、会場も2カ



所に分かれました。「災害報道を教育に活用する方法」「小論文を書くために、文章の論理展開を記

#### NIE活動を通じてコミュニケーション能力をどうはぐくむか話し合ったシンポジウム

徳長教諭は、クラス担任となって始めたホーム

してそれ実践内容を発表しました。

山西敏博助教授が「NIEと国際社会問題」と題

に掲載しています。北海道新聞、朝日、毎日、読売新聞の東京3紙、英字新聞、SLANケーブルを使って切り抜いた新聞記事を軽に新聞記事を利用し

てそれぞれ実践内容を発表しました。

山西敏博助教授が「NIEと国際社会問題」と題

してそれを実践内容を発表しました。

山西敏博助教授が「NIEと国際社会問題」と題

してそれを実践内容を発表しました。

山西敏博助教授が「NIEと国際社会問題」と題

してそれを実践内容を発表しました。

山西敏博助教授が「NIEと国際社会問題」と題

#### ■「生と死」考える

山西助教授は、「生と死」の教育をテーマに、英語の授業で十代の子たちの交通事故死についての英字新聞での相談記事を取り上げ、さらに、口

発表やシンポジウムで共通していたことは、NIEの推進には、それぞれの高校の実態に応じて新聞を活用することが鉄則だということです。

発表やシンポジウムで共通していたことは、NIEの推進には、それぞれの高校の実態に応じて新聞を活用することが鉄則だということです。

山西助教授は、「生と死」の教育をテーマに、英語の授業で十代の子たちの交通事故死についての英字新聞での相談記事を取り上げ、さらに、口

発表やシンポジウムで共通していたことは、NIEの推進には、それぞれの高校の実態に応じて新聞を活用することが鉄則だということです。

山西助教授は、「生と死」の教育をテーマに、英語の授業で十代の子たちの交通事故死についての英字新聞での相談記事を取り上げ、さらに、口

発表やシンポジウムで共通していたことは、NIEの推進には、それぞれの高校の実態に応じて新聞を活用することが鉄則だということです。

山西助教授は、「生と死」の教育をテーマに、英語の授業で十代の子たちの交通事故死についての英字新聞での相談記事を取り上げ、さらに、口

発表やシンポジウムで共通していたことは、NIEの推進には、それぞれの高校の実態に応じて新聞を活用することが鉄則だということです。

山西助教授は、「生と死」の教育をテーマに、英語の授業で十代の子たちの交通事故死についての英字新聞での相談記事を取り上げ、さらに、口

### 来月28日に 推進協総会 研究会も発足

北海道NIE推進協議会(山田家正会長)の定期総会が実践報告会を兼ねて5月28日午後1時から札幌市中央区大通西3の北海道新聞2階大会議室で開かれる。総会では、新聞各紙の

無料提供を受ける本年度のNIE実践校に、認定書が伝達される。

教諭らが日ごろの新聞活動や海外NIE視察などを報告を行う。問い合わせは北海道NIE推進協議会へ。

一方、同じ会場で午前11時から、北海道NIE研究会の設立総会が開かれる。同会は、授業や学級活動に新聞を活用する

教諭(電話011・8811・2034)へ。

## 編集後記